
経済 TOPICS

No. 225

(2023年11月22日)

景気ウォッチング（要旨）

日本 … 消費は底堅く推移しているものの、生産や輸出が横這い圏内の動きとなっているほか、設備投資にやや弱めの動きがみられることから、全体としては回復テンポが鈍化している。消費者物価は、全体としては落ち着いてきているが、食料（生鮮食品を除く）やサービス価格の上昇圧力が続いている。この間、海外での軍事紛争の拡大に伴う物価などへの影響が懸念されるなど、先行き不透明感の強い状態が続いている。

米国 … 生産や設備投資が横這い圏内の動きを続け、住宅販売が減少しているものの、個人消費が引き続き堅調なことから、全体としては緩やかな回復を続けている。この間、雇用のタイトさは緩やかに解消しつつある。消費者物価は、全体としては下落傾向にあるが、サービス価格の上昇圧力が続いている。

（参考）物価動向

〈日本〉 エネルギー価格の前年比マイナス幅の拡大により、全体としては落ち着いてきているが、食料（生鮮食品を除く）やサービス価格の上昇圧力が続いているほか、価格転嫁の動きが続いている。

〈米国〉 エネルギー価格の前年比マイナスが続き、食料価格も落ち着いてきていることから、全体としては下落傾向が続いているが、人件費の上昇に伴うサービス価格の上昇圧力が続いている。